平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 WDBホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号 2475　URL http://www.wdbhd.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 中野敏光
問合せ先責任者　(役職名) 専務取締役　(氏名) 大塚美樹　TEL 079-287-0111

四半期報告書提出予定日　平成26年2月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	18,988	4.1	1,467	△11.0	1,472	△12.4	817	△17.3
25年3月期第3四半期	18,244	10.2	1,648	37.4	1,680	40.9	987	57.8

(注)包括利益　26年3月期第3四半期　824百万円　(△16.6%)　25年3月期第3四半期　989百万円　(58.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	82.94	―
25年3月期第3四半期	100.21	―

平成25年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	9,934	6,402	64.5
25年3月期	9,873	5,484	55.5

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　6,402百万円　25年3月期　5,484百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	1,000.00	―	2,000.00	3,000.00
26年3月期	―	5.00	―		
26年3月期(予想)				17.00	22.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
配当金の内訳　記念配当　6円00銭

平成25年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。平成26年3月期(予想)の年間配当金は、当該株式分割を考慮した額を記載しております。なお、平成25年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。
また、平成26年3月期末配当につきましては、普通配当11円に、記念配当6円を加算しました合計17円の配当を予定しております。
記念配当6円につきましては、平成26年6月開催予定の第29期定時株主総会での承認を条件としております。

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	6.9	2,010	△7.4	2,010	△8.9	1,100	△14.0	111.81

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

平成25年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。1株当たり予想当期純利益は、当該株式分割を考慮して算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
②①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	10,030,000 株	25年3月期	10,030,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	1,000 株	25年3月期	192,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	9,851,891 株	25年3月期3Q	9,856,909 株

(注)平成25年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 4
４．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の推進する経済政策、日銀の金融緩和等により円安・株高で推移し、輸出企業を中心とした企業業績の回復が見られる他、個人消費の増大等、全体として景気回復の動きが見られますが、欧州の債務問題、米国の財政危機等、海外を取り巻く環境は依然として不透明な状況が続いております。

国内の雇用情勢におきましては、厚生労働省が発表した平成25年12月の有効求人倍率(季節調整値)は1.03倍となり、回復の兆しが見られ、また総務省が発表した平成25年12月の完全失業率(季節調整値)についても3.7%と、緩やかに改善をしております。

このような状況のもと、当社は中核である人材サービス事業において、全国で53拠点目となる室蘭支店を平成25年10月1日付で開設致しました。さらに、平成25年11月22日付で、株式会社東京証券取引所より市場第一部銘柄の指定承認を受け、平成25年12月13日付をもって、東京証券取引所市場第一部へと市場変更を致しました。これからも、「研究者が活躍する日本をつくる」、「キャリアの見通しをつける会社」という方針に基づき、「研究」をテーマとする領域において付加価値を創造し、提供していくビジネスを推進してまいります。

当社グループの当第３四半期連結累計期間における業績は、売上高については理学系研究職人材サービス事業の売上高の増加により、18,988百万円と前年同四半期と比べ743百万円(前年同期比4.1%増)の増収となりました。事業別の構成比は、人材サービス事業が98.2%、その他事業が1.8%であります。営業利益は、事業拡大を見据え、主として営業人員、支店人員を当期初に拡充した結果、販売費及び一般管理費の増加が前年同期比275百万円となり、1,467百万円と前年同四半期と比べ180百万円(前年同期比11.0%減)の減益、経常利益は1,472百万円と前年同四半期と比べ208百万円(前年同期比12.4%減)の減益、四半期純利益は817百万円と前年同四半期と比べ170百万円(前年同期比17.3%減)の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①人材サービス事業

理学系研究職人材サービス事業の売上高が前年同四半期に比べ増加しました結果、売上高は18,652百万円と前年同四半期と比べ784百万円(前年同期比4.4%増)の増収、セグメント利益(営業利益)は、主として営業人員、支店人員の拡充による人件費の増加により1,691百万円と前年同四半期と比べ149百万円(前年同期比8.1%減)の減益となりました。

(注)セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

②その他

当セグメントの売上高は、海洋生物の生態影響試験事業、魚介類の養殖販売事業、有機化学品の製造事業は堅調に推移を致しましたが、合成実験代行事業については軌道に乗せるまでに一定の時間を要することから経費が先行し、売上高は335百万円と前年同四半期と比べ40百万円(前年同期比10.8%減)の減収、セグメント損失(営業損失)は19百万円(前年同四半期は16百万円の損失)となりました。

(注)セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末の財政状態は、主に現金及び預金は増加致しましたが、未収消費税等の減少により、総資産9,934百万円となり、前連結会計年度末と比較して60百万円の増加となりました。負債については、主に借入金の減少、未払法人税等の減少により3,531百万円となり、前連結会計年度末と比較して857百万円の減少となりました。また、純資産は6,402百万円となり、前連結会計年度末と比較して918百万円の増加となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期の連結業績予想につきましては、平成25年9月6日付「業績予想の修正に関するお知らせ」において発表致しました連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,943,635	2,336,681
受取手形及び売掛金	2,866,891	2,847,217
商品及び製品	9,077	10,131
仕掛品	17,310	12,519
原材料及び貯蔵品	10,678	9,124
その他	823,788	492,664
貸倒引当金	△3,427	△4,540
流動資産合計	5,667,955	5,703,798
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,796,019	1,820,321
土地	1,437,468	1,437,468
その他（純額）	157,525	146,442
有形固定資産合計	3,391,012	3,404,231
無形固定資産		
のれん	157,736	113,729
その他	7,289	5,595
無形固定資産合計	165,026	119,325
投資その他の資産		
投資その他の資産	655,635	719,620
貸倒引当金	△6,110	△12,746
投資その他の資産合計	649,525	706,873
固定資産合計	4,205,564	4,230,430
資産合計	9,873,520	9,934,228
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,286,739	1,161,979
短期借入金	15,000	15,000
1年内返済予定の長期借入金	317,208	162,204
1年内償還予定の社債	20,000	－
未払法人税等	314,190	139,604
賞与引当金	285,113	196,242
資産除去債務	2,037	－
その他	1,246,875	1,280,835
流動負債合計	3,487,164	2,955,865
固定負債		
長期借入金	483,368	127,724
退職給付引当金	41,032	46,428
役員退職慰労引当金	280,991	297,022
資産除去債務	63,567	69,724
その他	32,718	34,784
固定負債合計	901,678	575,683
負債合計	4,388,843	3,531,549

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	800,000	1,000,000
資本剰余金	52,525	218,024
利益剰余金	4,700,960	5,170,484
自己株式	△75,814	△394
株主資本合計	5,477,671	6,388,113
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,445	6,218
為替換算調整勘定	4,559	8,346
その他の包括利益累計額合計	7,005	14,564
純資産合計	5,484,676	6,402,678
負債純資産合計	9,873,520	9,934,228

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日）
売上高	18,244,317	18,988,196
売上原価	13,820,462	14,469,370
売上総利益	4,423,855	4,518,826
販売費及び一般管理費	2,775,572	3,051,511
営業利益	1,648,283	1,467,315
営業外収益		
受取利息	182	166
受取配当金	1,857	1,856
還付加算金	4,951	10,890
助成金収入	20,000	－
為替差益	1,351	5,015
雑収入	15,770	6,141
営業外収益合計	44,113	24,069
営業外費用		
支払利息	6,258	2,406
上場関連費用	－	12,553
雑損失	5,178	4,421
営業外費用合計	11,437	19,381
経常利益	1,680,959	1,472,003
特別利益		
受取設備負担金	16,246	－
特別利益合計	16,246	－
特別損失		
固定資産除却損	7,058	－
減損損失	32,867	－
特別損失合計	39,926	－
税金等調整前四半期純利益	1,657,278	1,472,003
法人税、住民税及び事業税	586,775	591,113
法人税等調整額	82,748	63,795
法人税等合計	669,524	654,908
少数株主損益調整前四半期純利益	987,754	817,094
少数株主利益	－	－
四半期純利益	987,754	817,094

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	987,754	817,094
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	143	3,772
為替換算調整勘定	1,220	3,787
その他の包括利益合計	1,364	7,559
四半期包括利益	989,118	824,654
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	989,118	824,654
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		その他（注）	合計
	人材サービス事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	17,867,982	17,867,982	376,334	18,244,317
セグメント間の内部売上高又は振替高	53,336	53,336	－	53,336
計	17,921,319	17,921,319	376,334	18,297,654
セグメント利益又は損失（△）	1,841,619	1,841,619	△16,830	1,824,788

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有機化学薬品製造事業及び魚介類の養殖販売事業を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,841,619
「その他」の区分の損失（△）	△16,830
セグメント間取引消去	8,424
全社費用(注)	△184,929
四半期連結損益計算書の営業利益	1,648,283

（注）全社費用は、平成23年11月１日の新設分割により純粋持株会社となった当社において発生する管理費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

報告セグメントに係る事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他(注)	合計
	人材サービス事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	18,652,568	18,652,568	335,627	18,988,196
セグメント間の内部売上高又は振替高	36,664	36,664	－	36,664
計	18,689,233	18,689,233	335,627	19,024,861
セグメント利益又は損失（△）	1,691,903	1,691,903	△19,905	1,671,998

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有機化学薬品製造事業及び魚介類の養殖販売事業を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,691,903
「その他」の区分の損失（△）	△19,905
セグメント間取引消去	6,966
全社費用(注)	△211,650
四半期連結損益計算書の営業利益	1,467,315

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。